

授業科目名 (英文名)	コミュニケーション論 (Human Communication)	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1年次・前期
担当教員	池田 雅則	所属	看護学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	わたしたちが生涯向き合うことになる、他者との、自分自身との「コミュニケーション」。専門関連科目「コミュニケーション論」の目的は、理論的把握と実践を通して、わたしたちのコミュニケーション経験を前向きにとらえ直すことである。到達目標は、コミュニケーションに関わる理論を理解すること、積極的・協同的に実践に参加できるようになることである。		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>第1部では、いくつかのコミュニケーションの理論について説明し、これまでのコミュニケーション経験を客観的にとらえ直す機会を提供する。第2部では、第1部での理解を前提として、具体的にコミュニケーション実践を行なう。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス 【第1部】コミュニケーションの理論 2 コミュニケーションの構造 3 コミュニケーショントラブルの当事者にならないために 4 現代のコミュニケーションの特徴 5 演じるわたし 6 もの語るわたしとその変化 7 第1部で取り上げた内容の確認 【第2部】コミュニケーションの実践 8 言語以外のコミュニケーション 9 アサーション 10 ディベート実践の導入・準備 11 相手の気持ちと声を引き出す 12 ディベート実践 13 ディベート実践 14 ディベート実践 15 ディベート実践の振り返り 		
テキスト	なし		
参考文献	授業中に適宜紹介する		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準</p> <p>コミュニケーションに関わる理論を十分に理解できている、および実践に積極的・協同的に参加できている者に単位を授与する。</p> <p>成績評価の方法</p> <p>理論への理解：40%程度、実践への取り組み・出来栄：40%程度、毎時間のレスポンスシート：20%程度</p>		
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・レスポンスシートの提出をもって出席とみなす。 ・第2部は参加型の授業となる。班でのグループワークが主となる。 		
実践的教育	該当しない		
備考	受講生の興味関心に応じて、授業内容の一部を変更する場合がある。実習等との兼ね合いで補講が設定されるので、日程の確認に注意すること。		